

地域住民との連携による農空間保全

いなくらいけ

稻倉池地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 稻倉池地区は、泉佐野市の北西部に位置し、市街化区域内に多くの農地を有している。稻倉池からパイプラインにより送水し、水稻の他にキャベツ、玉ねぎ、とうもろこし、水茄子等を栽培している。
- 平成28年度に稻倉池地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、近隣小学校が連携し、ため池や水路等の地域資源の保全を図っている。

資源向上取組地区

【地区概要】

取組面積	36.0ha [田36.0ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路11.5km パイプライン2.7km 農道 2.6km ため池 6箇所
主な構成員	土地改良区、小学校
交付金	1,080千円（農地維持） 1,319千円（資源向上）

活動開始前の状況や課題

- 市街化区域内に多くの農地を有しているため、宅地と共に存しながら営農を行ってきたが、後継者不足による担い手の減少により、地域資源の保全に係る負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫など交付金を活用して実施し、農地や施設の維持管理を行っている。
- 農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 学校教育と連携し、地域の小学校（第一小学校）の子どもたちを対象に、農作業や収穫体験に取り組んでいる。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 小学校と連携し、子どもたちに作物を植え、育て、収穫するという一連の作業を体験、身近にある農空間の大切さを認識させることによって、地域住民の理解促進、また地域住民が交流する機会の創出に寄与している。

